

1. 件名：浜岡原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年7月22日（金）13時45分～14時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員※、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員
中川原子力土建部長 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・第1061回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合ご指摘事項について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それでは、時間になりましたので、1061回の審査会后この指摘事項の確認ということでの面談を始めたいと思います。
0:00:14	では、中部電力の方から、今日の面談の資料ですね、こちらの方のご説明をお願いします。
0:00:26	はい。中部電力天野でございます第1061回の紙。
0:00:31	新規制基準適合性に関わる審査会合ということで、7月15日の日に、浜岡原子力発電所の基準津波策定のうちプレート間地震の津波評価、
0:00:42	について審査いただきました。こちらでご指摘いただいた事項について
0:00:49	まとめて参りましたので、
0:00:51	確認の方をさせていただきたいと思います。
0:00:56	4点ほど記載してますんで1個1個、確認させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:01:06	はい。中部電力。
0:01:07	中部電力の森です。資料について説明させていただきます。
0:01:11	まず前回の1061回のご指摘事項についてというタイトルで、
0:01:18	一方としてご説明内容としてはプレート間地震の津波評価についてのコメント回答について説明いたしました。
0:01:24	2ポツ目ご指摘事項について、四つにまとめてございます。こちら最後に、
0:01:31	名倉さんの方でまとめていただいたところがありますので、そちらに沿って記載させていただいてございます。
0:01:39	一つ目、日本海溝の手法を用いたモデルとの比較において、検討波源モデルCの妥当性について、さらに説明を加えること。
0:01:48	二つ目として、詳細パラメータスタディにおいて、最も敷地への影響が大きいモデルの選定プロセスと、その根拠を説明すること。
0:01:58	三つ目としまして、水位下降側の詳細パラメータスタディについて、各パラメーターが水位低下時間に与える影響を分析し、各パラメーターによる影響の大きさを考慮したパラメータスタディが実施できているかどうかを説明すること。
0:02:14	四つ目としまして、今後、地震による津波と地震以外の要因による津波の組み合わせの評価結果を示す際には、
0:02:22	組み合わせの結果として、最も影響の大きい波源が選定できていることを、説明すること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	以上の4点にまとめてきて、まとめてございます。
0:02:33	で、それぞれ、現時点で我々が考えている対応の方針についても、ご説明させていただきます。
0:02:42	まず一つ目、日本海溝の手法を用いたモデル等の比較において、検討上げモデルCの妥当性についてさらに説明を加えること。
0:02:50	についてです。
0:02:53	前回の審査会合では、検討波源モデル。
0:02:56	と、日本海溝モデルとす。各検討波源モデルはなくて、検討波源モデル設定したAからDと、
0:03:05	日本海溝モデルイシカワさんということで、比較していると。
0:03:08	いうつもりでしたけれども、
0:03:11	今回A A Bの滑り量、地殻変動量は、
0:03:16	日本海溝のモデルと同程度以上になっていると。から、妥当だというような、少し記載ぶりにしてございました。
0:03:22	で、ご指摘いただいた、じゃあCはどうするんだということについても、少しちょっと記載がなかったというところがございましたので、
0:03:35	あと、ちょっと、
0:03:37	同程度以上だから妥当だということのちょっとロジックも、もともとの前々回の審査会合のコメントに立ち返るとちょっと違うのかなということも考えてございます。
0:03:47	そのため、検討波源モデルCも含めて、それぞれ各検討波源モデルの滑り量分布、
0:03:54	地殻変動量分布、
0:03:56	また敷地への津波影響の影響の仕方みたいなところが、日本海溝のモデルと同じような傾向になっているところを分析として、検討しまして、その上で妥当かどうかと。
0:04:08	いう記載を記載というか趣旨のコメント回答を現在検討しているところです。
0:04:17	と、
0:04:20	どうでしょうか、1個1個の方がいいですか。
0:04:24	C Cカップ指摘趣旨確認は、
0:04:40	はい。一つ一つでは
0:04:43	趣旨の確認をさせていただければと思います。はい。続けさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:49	今 1 点目のところを続けさせていただきたいと思います。どうぞ。
0:04:54	すいません。ありがとうございます。今回補足説明資料の方には、その日本海溝モデル①から③の滑りのパラメータスタディを実施した結果も載せておりました、当然見て、
0:05:08	もちろん見ていただいているかと思うんですけども、
0:05:11	検討波源モデル A から D の検討波源モデルの津波評価結果に対しては、
0:05:17	影響がないということも、もご確認いただいているかと思しますので、その結果も含めて、少し説明を、妥当性の部分を説明補強できないかなということを考えてございます。
0:05:29	で、
0:05:30	一方で、今回のコメントが、
0:05:34	C の滑り量が、1 の滑り量よりも小さいので、それと同等以上にする必要があるというようなコメント。
0:05:44	との真意であれば少し今申したような、
0:05:48	方向性も、再検討する必要があるかなというふうに考えております。以上です。
0:05:57	はい。ありがとうございます。一応、今日、そちらからご説明があった資料ですね、ご指摘事項のこの文言そのものについては、これは、
0:06:08	審査会合で指摘した内容ということで、この文字自体はいいんですけど今多分趣旨として、どういう趣旨の指摘かということの認識確認だと思います。
0:06:19	もともとその審査会合で指摘した趣旨は多分会議の時にもここはご理解いただいていると思うんですけど、会合だと資料多分 134 ページのところ
0:06:30	で、
0:06:30	三つ並べて、これから比較しますと言って並んでいるのに、C について何も触れてないのは一体何なんですかというそこから、
0:06:39	スタートになってますので、
0:06:41	何とか必ず C のモデルが、形としては似ている日本海溝津波評価手法モデルの①、これに何かパラメータなりその結果なり上回っていかねばならないとかそういう趣旨のコメントではないですと。
0:06:56	一応税、前回って今で言うともう全然変えていった方がいいのかもしれないですけど、去年の 12 月の会合のときにも、その最終的な結果の推移、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:07	これの大小で、いやモデルが妥当かどうかとかそういうことではないですよねとそもそもモデルそのものがどうかというところをしっかりと説明してくださいということだと、他方で、ただ、
0:07:20	ただその結果の推移として、何か大きく小さく出てしまってるんだとするとそれって、原因なんですか。
0:07:27	何かパラメーターの基本、検討波源モデルのパラメータの設定の仕方が何か変だったんですかね。
0:07:35	そういうことで、そういう可能性はないんですかっていうのも大分合わせて言ってたと思うんですけど、少なくとも、検討波源モデルA Bについては、これは別に何か、もう前回の、前回というか先週の会合の
0:07:48	説明の中でしっかりと説明されてると思ってますし、ただ比較の俎上の中に入ってるこのCの存在一体何なのかという
0:07:55	ところで、そこの説明が何も書いていないので、
0:07:59	この134ページから、このモデルC検討モデルCについては何をもって妥当だと言いたかったんでしょうかっていう、そこをしっかりと書いてくださいってことなんですけど、一応会合の場では、
0:08:12	そもそもモデル市単独で何か比較したかった趣旨ではないというふうに伺っているので、そうだったらここで言っている比較って、
0:08:21	何等何をどう比較整理して妥当性を示そうとしてるのか冒頭ないのでですね。
0:08:27	これはモデルCについてはもともとその会合でもこちらから言いましたけど、広域の影響を見たいということ影響があるモデルとして多分作りたかったということだったと思いますんで、
0:08:41	ただ、ちょっと今のこの134から比較の仕方だとどうなんですかね、広域への影響として妥当なモデルだっていう、比較の仕方は多分日本海溝のこのオオイ①②③と、
0:08:56	この比較の仕方ですとわかるもんかなあと思うんですけど。
0:09:04	先ほどすみません、おっしゃってたのは、
0:09:07	多分何か二つぐらいのとらまえかた先ほど岩森盛さんがおっしゃってたと思うんですけど、
0:09:16	多分補足説明資料の方見ていくと、先ほどお話があったように、多分検討波源モデルし、単純にその滑り量とかのパラメーターとかですね、この数字だけ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:27	見ると、日本海溝の手法モデルよりも滑り量とか平均滑りは小さいですって、それは多分広域の影響を考慮しているルート作り上げたモデルなんで結果そうなるんだと思うんですけど。
0:09:40	他方で一応日本海溝の表のモデルの方も、多分補足説明資料の方で、
0:09:45	ほぼ概略パラメータスタディとおんなじようなことやられてるんですよ。結果、多分その結果を見ていくとおそらくモデルCで次日本海駒単なる数字ですけど、
0:09:57	3評価手法モデル1で、結果多分モデルDのが、もっと上になるんだと思うんですけど、
0:10:02	ただそこも単純に何か数字比較で三つ並べて、数字が大きいから、
0:10:08	という説明だと。
0:10:09	おそらく、去年の12月の、
0:10:12	話と全く同じことになってしまうんで、
0:10:15	やっぱりモデルCについて、
0:10:18	日本海溝の手法もこの手法と、
0:10:21	どのような比較をして、
0:10:23	妥当だと言いたいのかっていうところはそれは何かまず算出を書かないと。
0:10:28	妥当性確認というのが、じゃあどうやって確認するんで何が確認できればいいんですかっていうところが何も書いてないので、
0:10:35	花粉社の考え方をしっかり書いた上で、
0:10:38	思いますでこの今134回のやつはあくまで、A B C Dたい①②③。
0:10:44	の比較をしないと。
0:10:46	なのでその個々のモデル、1個1個の妥当性の説明ではないっていうことなら、多分そういう説明の書き方で、書き始めていかないと、ずれるんだと思うんですけど。
0:11:01	例えばそのモデルCの妥当性自体はもっと前の方で、妥当性は説明してるんですけどっていうことなら、そういう説明の仕方になるんですけどね。
0:11:12	モデルCとかモデルDの波源設定ってこうやりましたっていうのをもっと前に書いてありますよね。
0:11:21	遠藤萩尾モデルCはこういう考え方で作ったモデルなので、従ってに本会合の。
0:11:27	先ほどのモデルの比較としてはこのC D対①②③この3対3の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:33	チーム同士で比較の仕方として説明するんですけどっていうのはそう書かないという、スタートにならないので、
0:12:03	中部電力天野でございます。今の鈴木さんの後、
0:12:09	趣旨のご説明ありがとうございました
0:12:12	中身はよく理解しました。おっしゃられた通り、私達 94 ページにあるんですけどもともと南海トラフではM9.1の津波なんていうのは、
0:12:25	起きていないというところがある中で、世の中にある手法というのを参考に、内閣府 2012 等土木学会 2016 でそれぞれ、
0:12:37	敷地周辺の津波に着目したモデルと、広域のモデルっていうのを作ってやってきたというところでただ、やはりこれ、実際にはまだ南海トラフで起きていないので、
0:12:51	日本海溝で検証されたであろうというモデルと比較して妥当性を確認するという手順を踏んでおりますので、もともとの世の中にあるものに従いながら、
0:13:06	その妥当性検証というところにちょっと、おっしゃる通りか書ききれてない。
0:13:11	何をもって妥当だっていうところがおっしゃる通り書ききれてないものですからこの辺りしっかりご説明できるような構成にして参りたいと思っております。
0:13:24	はい。なので多分そこがないと、何か会合で議論のしようもないっていうところなんですけど、何か補足説明資料の方で一応日本外交の手法モデルの位置をほぼ概略パラメータスタディに相当するものをおそらくやられていて、
0:13:39	いて、何かそこも含めてですね、妥当性がその数字がどうだからという、もう一応念のためこういう数字でも確認してみましたっていう、
0:13:50	説明も含めて、妥当性のご説明したいのであれば、それちゃんと補足説明資料と、
0:13:56	何て言うか、リンク関係というか、をしっかりと示した上で、書いてあげないと、
0:14:02	いや、その補足生成資料を見ていただいていると思いますがという説明だと、それは根拠として用いているのか用いて何かこちらわからないので、
0:14:10	そのはっきりわかるようにしないと、議論にならないかなと思っておりますけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:14	なので何か改めてそのモデルCのパラメータを何か変更してですね、このパラメータおかしいと。
0:14:20	なので、それは計算をし直すべきだとか、そういう趣旨のコメントはそもそもない。
0:14:29	中部電力天野です。はい。よくわかりましたありがとうございました。
0:14:33	はい。じゃ、ここはHをその指摘の背景趣旨はその前、12月の間からも含めてですけど、ここはご理解いただけただけということで、次の項目ですか。できましたので、はい。
0:14:47	そのお考えに、ちゃんと答えられるように資料をまとめられると思います。はい。はいは続いて、二つ目に今考えてることとか趣旨確認させていただいてよろしいでしょうか。
0:15:04	はい、どうぞ。
0:15:06	はい。中部電力の盛です。では二つ目に参ります。先ほども読み上げましたけれども、詳細パラメータスタディに於いて、影響の大きいモデルの選定プロセスとその根拠を十分説明することと。
0:15:19	ことで、コメントを整理してございます。現時点での対応としまして、前回の審査会合でご指摘いただいたようなその選定の方法については、注釈で記載をしていたところがございます。
0:15:33	こちらをもう少し、プロセスを方針としてわかりわかりやすく示すとともに、それに従った選定結果となっているかと。
0:15:43	いうことを再点検して、説明性の向上をさせたいというふうに考えてございます。
0:15:50	前回の審査会合の選定方法としましては、モデルごとに影響の大きい評価時点に着目して、小数点第1に切り上げて保守的に津波高を評価するというのを踏まえて、
0:16:03	小数点第1までの津波評価結果から、津波影響を代表するケースを選定してございました。
0:16:09	上記では、津波影響代表づくりケース選定できない場合には、さらに小さい桁数まで比較して、選定するというのを、前回の審査資料では記載してございました。
0:16:23	名倉調整官からもご指摘いただいていた基準特に基準断層モデル3の3のところ、
0:16:33	今の上記では、選定できない場合はさらに期待桁数まで比較し選定したというところで、さらにここでも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:42	片方が大きい、1 から 4 号は、片方が大きくて、はもう片方が大きいので、こういう場合、
0:16:51	この選定方法ということで、これは注釈で書いてございましたけれども、なかなか
0:16:58	どんどんどんどん細かいところまで注釈するのも、ご理解いただくのも難しいかなというのも考えてございます。で、そういう場合には、両方を選定するとか、
0:17:09	少し選定方法をきちんと方針として示した上で、
0:17:15	あそこに沿った形で選定をすると、必要なら前提を少し、先ほど申し上げた 3-3 のような場合には二つ選定しておく、というような少し再点検をして、
0:17:27	選定方法をわかりやすくしたいというふうに考えてございます。
0:17:34	以上です。
0:17:39	はい。一応会合で行ったモデル 3-3 というのはあくまで
0:17:44	ファイル内のレイジーなので、
0:17:49	埋めると起承転結地鉄だけ書いてあって、妥結がよければあとそれ以外のところは、質問されれば当然ロジックはお答えしますっていう
0:17:57	昨日少しちょうどあれかな、中丸城か内野規制部長のオオシマとかと面談させていただいて、何ていうかそれは、
0:18:08	たまたま今回津波の会合のときの後にということでもありますちょっとこれまでの他の資料も同じなんですけど、
0:18:15	一応家庭の部分がですね、抜けている部分が多々あるので、この辺は何か想像で我々質問して、想像で、
0:18:25	結論として何となくよさそうなんだけど、想像間の部分想像で我々審査するわけにいかないの、そこはきっちりと頭を書いてもらって、
0:18:32	それから議論しましょうということです。で、
0:18:38	会合の場で幾つか例示したのはありますけど、多分基準断層モデル 1 シリーズ 3 シリーズ、これをどれどこの評価に対応させようとしているのかというところで、
0:18:49	これが、
0:18:50	やっぱり検討波源モデル A の基準断層モデル 1 C 図はこれ敷地前面の評価に使うという宣言をしてから評価に入ってパー詳細パラスタに入っているのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:02	詳細パラスタをした結果、最後、コーナーと、こういうふうにし、結果として、最終的にはその着目している部分が、
0:19:11	これ最初の時点でもう決めて決めていて最後念のため確認仕事してるのか最終的な水ですね。
0:19:18	で、やっぱり着目がおかしくなかったねっていうのを公設証明しようとしてるのか、そこら辺もちょっとはっきりわかるように書いてもらいたかったので、どうしてもその詳細パラスタの入口のところ、
0:19:30	1 ページで何か網羅的にあります以上って書かれると、
0:19:33	後はど、どういう説明がなされていればですね詳細パラスタ、最後の結果妥当だと我々判断すればいいのかが、
0:19:40	確認できないので、そこら辺はご理解いただいたかなと思いますと。
0:19:49	かなりその数字としては似通ってる部分があるのその中から、本当に唯一 1 個だけ最後選ばなきゃいけないのかっていうところもあるんですよ。
0:19:59	一応最後最も影響があってその最もの部分で、唯一 1 個を選ぶ。
0:20:05	ババなきゃいけないと思ってるのか選ぼうと思ってるのかあれですけど、
0:20:09	かなり差が小さい中で、いやこの 1 個、この 1 個のパラメーターでもってですね代表できると。
0:20:17	説明するにはやっぱり考え方を示して欲しかったなっていうのがありますので、
0:20:22	前回、前、去年 12 月の結果としてこれ最終的に、1 号 2 号 3 号 4 号 5 号も同じですね基準断層モデルの結果として、
0:20:35	何か選ばれてるのか、やっぱり結果によってですね 12 号の取水相当 3 号、4 号 5 号とその別々の基準断層モデルが何か選ばれる可能性もあるという、
0:20:46	考え方なのか、そこら辺も多分崩落法案ですかね。
0:20:51	崩落するケースを選定って言ってんじゃこ崩落ってやっぱり 1 個に最後絞り込もうという考え方でやろうとしているのか、そういうのも見えてこないの、
0:21:01	そこら辺は資料に書いてないだけで社内でしっかりした考え方があるっていうんだっただけならそれは変えていただかないといけないということで、
0:21:18	はい、中部電力の盛です。ありがとうございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:22	杉さんから
0:21:23	初めの方に言われた、初めに着目する地点を選んで、詳細パラメータスタディを始めているのか、どうなのかというところを審査会合でもご指摘いただき、
0:21:34	ご発言いただいてたかと思えますんで、少ししっかり答えられなかった部分あったかと思えますけれども、
0:21:40	まず概略パラメータスタディの実験で、ここが影響が大きいというのを選んできていますので、詳細パラメータスタディが始まる時点でも、ここに、そこの着目したところに、
0:21:51	絞って、影響が大きいモデルというのを選定してきております。で、その結果、あとで、その着目に間違いがなかったというか、妥当なものだったということを確認すると。
0:22:04	いうことを考えて、資料作っておりましたので、その部分も方針として、見えるようにさしていただきたいと。
0:22:13	思います。
0:22:14	あと、衛藤。
0:22:16	後ろの方の部分で、ご指摘いただいた、12月、
0:22:20	からの時はどうだったのかということについても、
0:22:24	選定のやり方としては12月も、金前回の審査会合6、先週の審査会合も変えてございませんで、
0:22:32	江藤玉野に多様なケースがどんどん増えてきているので、細かいところの、どっち選ぶかというところで、注釈がちょっと増えてきてしまっていたというところですよ。
0:22:43	で、
0:22:45	一つに絞るってことはあまり考えていないんですけれども、似たようなケースについては、津波影響を代表できるケース。
0:22:56	選んでいった方が、実務上はいいんじゃないかというふうに考えているところもございますので、そこの代表の絞り方、代表ケースの選び方についても少し見える化を検討させていただきます。
0:23:09	ありがとうございます。
0:23:12	はい。
0:23:13	藤先ほどの概略パラメータスタディの段階で、一応、どの、検討波源モデルというか基準断層モデルが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:22	どの評価値に対応してるのかは、多分書いてあるというはおそらくな。概略パラメータスタディの最後に、字が赤くなってますということだと思っんですけど。
0:23:30	なのでそこから察するにというところで、会合で行ってきたつもりではあるんですけど、
0:23:36	ただ明確にやっぱ書いてないんですよ。いや、はっきりそうなら相当、概略パラメータでの最後に書くのも手ですし、
0:23:43	詳細パラスタの冒頭に書くというのももちろん手なんですけど、
0:23:48	赤害悪パラスタの最後多分 165 あたりで、文字が赤くなってるので、これが最大値、それと同程度の値って書いてあるのでこれをさしてくださいっていうのは、
0:23:59	ちょっとそこは
0:24:01	推察推測で、こちらとしては何となくわかるんですけど、
0:24:07	それはちょっと不親切かなという数字でありますので、はい。
0:24:15	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。165 ページ 166 ページ、こちらの債権なってますけど、概略パラメータスタディの結果の分析ということで、のモデルだと。
0:24:27	敷地前面が大きくなっているだとか、飯田当間、取水槽が大きくなってるだとか、というような分析も記載として、検討させていただきます。
0:24:38	この時点ではっきりとそういう宣言をされるなら、そういう宣言された方が次の詳細パラスタに入ったときに、今何が検討されてもいいのか。
0:24:47	それはっきりとわかるわけなので、はい。
0:24:50	ちょっと細かいその数字の話はちょっと水位低下側のところともかぶる部分があるので、そこはもしこの項目くれば次の項目にしますけど、
0:25:07	すいません名倉ですけれども、よろしいですか。すいませんお願いします。
0:25:14	今のちょっと説明を聞いていて、
0:25:20	三瓶下、
0:25:21	180 です。
0:25:26	108、276 ページの注記 12 で書いてあることとかこういったところの議論も含めた形でコメントにしようとしたときに私二つコメントを実はしていてそれを一つに集約して今回、
0:25:41	指摘事項を記載しているんですが、ちょっと修正した方がいいかなと思ったのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:47	詳細パラメータスタディにおいて最も敷地への影響が大きいモデルの選定、
0:25:55	の後なんですけれども、
0:25:57	選定の方法、
0:26:00	プロセスと、
0:26:02	その根拠を十分説明すること。
0:26:06	細かいその数値の大小関係とか、もしくは同じ数字の扱いですね小数点以下1桁の数値の扱いってというのはそれはどちらかというのと、
0:26:16	プロセスの中でどういうふうな、
0:26:21	考え方をとってるかっていうことだと思うんですけど、そういう意味で、先ほどの箇所の選定とかそういったところ、
0:26:32	この部分も含める等、すいませんモデルの選定の、さっき方法と言ったんですけど、モデルの選定の方針、
0:26:39	プロセスとその根拠を十分説明すること。
0:26:43	ということで、やっぱり方針をちゃんと説明するっていうことも、
0:26:48	指摘事項の中で非常に重要な部分を占めるので、
0:26:52	選定の方針、
0:26:54	という文言をちょっと入れてもらえますか。
0:26:59	この方がいいと思ったんですか。
0:27:02	は一部でたものでございます。承知いたしました昨日、面談で、
0:27:08	ご指摘改善事項として藤ナグラさん、さんからおっしゃっていただいたことにも重なるものですのでしっかり方針を示した上でそのプロセスがこうなって結果がこうだと。
0:27:21	いう流れがわかるような整理をさしていただきたいと思います。
0:27:26	1点ちょっと教えて欲しいことがありまして、先ほど鈴木さんの方からお話もあったんですけど、例えばその3号4号5号の、
0:27:38	取水槽の水位っていうのは、それぞれの基準津波が一番影響機能を選ぶ。
0:27:48	ババなければいけないと審査ガイド上そういう認識をする。
0:27:54	必要があるものなのか、
0:27:58	一緒であれば、そこが一緒だって結果はそうなるのかもしれないんですけど、審査会合所っていうのは、それはそれぞれで選ばなきゃいけないものなのか、そうそうでもないのかっていうのは、どう考えたらよろしいんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:24	すいません会話の場で何かそこまで、何々しなければならぬという主旨意識すいません質問検討しなかったんですけど今まで多分評価地点を複数何かまとめて評価している例を知らなかったので、
0:28:37	独特の考え方ですねという趣旨で、してきたつもりなのですが、ちょっと待ってください。
0:28:45	なので、いや、まとめる、多分おそらく何回も前というか詳細パラスタとかを今回議論しましたけど、もっと前の多分会合のときに、こういう趣旨でまとめますってご説明おそらくしてるんだと思うんですよね。
0:28:58	補足説明資料の方にズラッとその評価地点の考え方みたいのが並んでたので、
0:29:07	それが今回はコメント回答なのあえてそこを省いていたのかもしれないんですけど、あまりその評価地点を、
0:29:16	複数、グルッとまとめて、
0:29:18	評価できる評価する。
0:29:20	ていう、その再度あまり知らなかったので、
0:29:24	この場合は御社やっぱりまとめる。
0:29:26	ていう考え方なのか、前回12月の会合のときには、これ一ん。
0:29:33	すいません。
0:29:38	中部電力も入って申し訳ないですけど、
0:29:42	あまりその評価地点をまとめるということは考えてるわけではなくて、同じような津波水位がたくさんあるので、
0:29:50	まず特に取水槽についてですね、それぞれの1から55水等で一番影響が大きいモデルはどれかという視点で、選んでると。で、
0:30:02	小数点第一位までの結果だと、どうしても当時、審査会合のときにもご指摘あったような同じような推移が並ぶので、そういう場合に、
0:30:13	3号だとか4号だとかっていう方の数字を見て、すべてのところで、一番影響が大きい波源はどれだというような選び方も、方針として入れているということでございます。結果的には
0:30:26	評価地点ごとに、一番大きい水位というのを選んでいるということなんですけれども、そこをそれぞれの地点ごとに、津波だし、基準断層モデルごと地点ごとに、
0:30:38	小数点まで9、以下、どんどんどんどん比べて、一番大きいやつをデジタルで拾って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:45	来る必要があるのかというような趣旨で今、質問をさせていただいております。
0:30:56	油です。
0:30:58	今までいろんなサイトのケースを、私は施設側の観点ですけど見てきましたけれども、
0:31:06	基準津波側からもらってる情報、
0:31:10	私が見た限りでは、
0:31:13	評価点の中で最大のものっていうものを、これだけ拮抗するっていうこと自体があまり見たことはないんですが、少なくとも、
0:31:24	各評価ポイントごとに、優劣をつけて、それを集約するときに、どれを代表にするか。
0:31:35	ていう議論で集約していったっていうことは今までの経験では見たことがあります。
0:31:43	そういう意味で私が最後にいろいろとまとめてお話したときに、
0:31:50	評価地点ごとに、どこが一番大きいのかということが優劣がつくのであれば、
0:31:58	それをちゃんと明示した上で、それをさらにいろんなモデルで、
0:32:03	何て言うのかな、集約していくときに、どういうふうにするか何ていうかな、取捨選択をするかっていうところかなと思いますけど。
0:32:15	必ずしもすべてを選択しろと言ってるわけではなくて、類似しているモデル上のケースに関して、
0:32:25	それに関して、他のケースとの関係を見た上でどういうふうに絞り込むかっていうところの考え方、これを明らかにしてくださいという意味で申しました。
0:32:39	今ちょっといろいろ考えるとですね、
0:32:43	二つの選択肢はまずあるかなと思っていて、小数点以下蓋桁目まで見た上でチャンピオンをちゃんと明示しておいてそれを、
0:32:53	スクリングかけていくっていうやり方と、あと、ややそんな蓋桁ぐらい見る精度もないから、じゃあ1桁ぐらいに丸めて、
0:33:03	丸めた上で、すべて選定した上でそれをモデルの類似性とかそういうものを見た上で絞り込んでいく。
0:33:13	という考えもあるかもしれないですね。
0:33:17	ですから、どれぐらいの精度があるかっていうこと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:25	議論をしようとする、二つの方法に分かれるんじゃないかなと思います。
0:33:32	はい。チームリーダー浜野でございますありがとうございます。非常によくわかりました。やっぱり、森村申し上げた通りで
0:33:42	それぞれのポイントでしっかり着目しながら検討していったら最後、結果として今、名倉さんがおっしゃられたような第一位で見て、個別にその類似性だとか、
0:33:55	を見た上で、どれを、どれが一番影響が大きいかっていう、選定をするのか、アナログでやるのかってところがあるかと思っていますんで、
0:34:07	進め方自体非常によく理解できましたので、しっかりそこ資料の方でおわかるような形でまとめたいと思います。
0:34:20	はい。よろしくお願いします。
0:34:23	ここはこれで良い。よろしいですか。
0:34:28	では3点目ですかね。はい。
0:34:31	はい。中部電力の盛です。では3点目、再度読み上げさせていただきますけれども、水加古側の詳細パラメータスタディについて、各パラメーターが水位低下時間に与える影響を分析し、
0:34:44	各パラメータによる影響の大きさを考慮したパラメータスタディが実施できてるかどうかを説明すること。
0:34:50	いうご指摘に整理してございます。
0:34:52	現時点で考えている対応方針としては、
0:34:58	まず、コメント通りですけれども、当日審査会合で口頭で若干申し上げたような、各パラメーターがどういうふうに水位低下時間に影響しているのかということの分析の記載をもう少し充実化、
0:35:11	入れさせたいというふうに考えています。
0:35:13	また、スイテイカジ感が大きい傾向があるというふうにも、
0:35:18	考えています。駅、特に基準断層モデル2-3については、評価結果が同じぐらいになっているライズタイム90秒から180秒の中での影響確認というのを実施して、
0:35:30	評価結果変わらないこと、ちょっとまだ結果がないので、どうなるかということありますけども変わらないか、もしくは周りが低いのかということを示すことによって、
0:35:40	推定側の詳細パラメータ差異に関する説明性の補強を考えてございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:52	はい。水位低下のところは、そうですねまず
0:35:59	市詳細パラスタある程度やってみないとその影響も度合いですねそれぞれのパラメーターの影響度合いも当然確認しがたい部分あるので、一応かなり上昇側と同じような当たりをつけて、ライズタイムで、
0:36:12	まずやってってやり方だと思うんですけど。
0:36:19	最終的に、ちょっと阿南さん、介護の土岐アマノグループ長おっしゃったんですかねこれのみち 20 分以上もつので、その中でどこまでやる意味があるのでしょうかという、
0:36:29	ような発言もあったと思うんですけど、あまり我々この段階で、施設設計上どこまで取水時間が持つとか、ポンプ何台運転するだとか、
0:36:39	いうところは、斟酌してないので、何か設計上の水に余裕がある、取水可能時間に余裕があるから、この部分をあまり詰めなくて良いんじゃないでしょうかというつもりでは我々見ないので、
0:36:52	そこはご認識いただきたいかなとは思いますが。
0:36:56	ちょっとどこまで、例えばライズタイムの方、今あれですかねやり方としてはある程度その
0:37:05	影響の大きさ、取水可能な取水水位低下時間がついてか時間が流そうなものをですね、詳細パラスタやった結果、それをライズタイム戻すときどこまで戻すかっていうところもあるんですけど、
0:37:18	これもやっぱりそのライズタイムの方も、
0:37:22	あまりここもほとんど差がないんですよ、10396 ページみたいなやつだと多分平均値で出しちゃってるので、
0:37:30	どのぐらい幅があるのかなっていうところのところは見えてこないのですが、
0:37:37	これもライズタイムどこまで戻せば、逆転しないのかっていうのは、
0:37:44	ちょっとこのここまで計算すればさないことがわかるでしょうっていうのは、あんまりここ今いただいている資料の中からちょっと、
0:37:51	パツとは言いがたいんですけど。
0:37:54	ただ全体の傾向としてさすがにライズタイム、
0:37:58	そして、いわゆる 200 秒台ですね、というところはあまり引き波の方には影響してこないんだって辺りがもって説明するんであれば、そこまでやらないっていうのもあるかもしれないんですけど、
0:38:12	それでここで何か 180 秒まででいいですか、何秒までにします何秒までのものを見るべきだっていう

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:20	そこまでのコメントではないんですが、ちょっとそこら辺もう結局、小、今、今の段階でやってる詳細パラスタの影響、
0:38:28	をきちんと分析してもらわないことには、まずスタートしないのですということなんですけど。
0:38:35	やり方としては、受けとめ方としてはあれですね一応詳細パラスタやった結果のそれぞれのモデルの、いわゆる青になる部分ですよねチャンピオンになりそうな部分。
0:38:47	それぞれのモデルの、
0:38:49	これを、
0:38:51	スライドタイムの方にもう一度戻して幾つか計算してみる。
0:38:56	そういうやり方を考えているんですかね。
0:39:02	はい。中部電力盛です。おっしゃる通りです。今の時点では、審査会合でやりとりさしていただいたように、今、一番大きくなったケースについて、ライフタイムを振ってみて、
0:39:15	影響がそれ以上大きいものがないかという視点で検討したいというふうに考えてます。
0:39:22	今の 90 秒から 180 秒というのも、例示としては申し上げましたけれども、もう少し幅広く検討することも考えたいというふうに思います。
0:39:32	以上です。
0:39:34	すいません。今日会合のときには、一応たまたまですよ。今の現段階のチャンピオンが基準断層モデル 2 の三田の 13.5 分だったんで、
0:39:44	その趣旨でありましたけど、やっぱり、そこはきちんとですね、分析をいただいて、いやこの基準断層モデル 2-12-2、
0:39:52	これについて多分破壊開始点としては、
0:39:56	結局 P-1 か P-6 ぐらいしか効いてこないとかそれ以外は逆にガクッと、
0:40:01	取水水位低下時間が短くなるので、
0:40:06	ここは割り戻す価値があってこれによって
0:40:11	最終的な水位低下時間としてはここまで抑えておけばいいって、代表できるっていうのを、
0:40:16	補完できると。
0:40:18	いう、きちんと説明のロジック組んだ上で、やらないと、とりあえずなんか 13. は最大だからやってみたと行って割り戻して計算したら、もしかしたらじゃあ 13.2 とか 13.1 の別のケースですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:31	の方もやると、もう1回変わるんじゃないかみたいなことやると、何度も永久ループするので、
0:40:37	ここはきちんと、今やってる詳細パラスタの今、今ある結果ですよ、ここから。
0:40:44	どこまで念のため確認すれば妥当性が説明できるかっていうのはやっぱりきちんと分析をしてから着手しないと。
0:40:54	やってみた結果さらに首をひねるような結果が出てきたときに、どん止まりになるので、
0:40:59	おそらく、13.5分と13.1分とかなんで、
0:41:04	ロジックとしては、多分このモデル2-3ですかね、このケースをどうやって最後料理するか。
0:41:13	ていうことになりそうな気はするんですけど、当然ながらいただいている詳細パスの結果を私なりに分析して考察をしていってるわけではないので、そこはきちんと御社の中で検討してからだと思いますけど、
0:41:30	はい、中部電力の盛です。
0:41:32	承知しましたありがとうございます。まずどこを検討対象とするのか、DMどの範囲でライズタイムを振った、検討してみるのかというところ、ロジックを積んだ。
0:41:44	こんだ上でお示しさせていただきたいと思います。
0:41:48	今の間、ほぼ、
0:41:51	分析として思っていますのは、あまりそのライズタイム、
0:41:55	の、
0:41:56	そういった時の傾向と、破壊、
0:41:59	対して破壊伝播速度との傾向等が、
0:42:04	あんまり相互に影響するようなパラメーターではないのかなというふうなことを考えてもらって、
0:42:08	衛藤前、前回審査会合でご指摘いただいたその滑り域の位置と破壊開始点については、ホース引きの位置が変わると破壊開始も変わるというような関係にあったので、
0:42:19	しっかり検討する必要があるなというふうに我々としても受けとめております。で、今回のそのライズタイム当間は媒介して破壊伝播速度っていうところについては、ライズタイムはどっちかと滑り量と同じようなパラメーターで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:32	伝えるために次回と、津波高が大きくなると、あと少し周期が長くなる というような関係ございますけど、
0:42:40	これと、破壊かえして破壊伝播速度とかあんまり効いてきていないのか なということが、
0:42:45	3-1、2-1-2-3を見ていただいても、わかる傾向かなというふうには、 現時点で持っておりますので、そういうところも含めて少し分析が どういう形でロジックとして組み込めるかということも、検討させて いただきたいと思います。ありがとうございます。
0:43:05	はい。よろしくお願いします。
0:43:08	この辺は特にはないですかね。はい。
0:43:11	では、最後の、
0:43:15	のところは、どちらかという、何ていうか、今後、
0:43:20	そこはほぼ認識の共有に近い部分もあって、今回そのやっぱりプレート 間の津波の評価として最も影響があるものを選んでいて、
0:43:29	なかなか浜岡は難しいところは、かなり波源域震源域と、筋性の部分と かですね、海域の部分が重なっているので、
0:43:39	数も当然それぞれの単独でチャンピオンの、
0:43:43	多分、松波チャンピオンのものが、
0:43:47	おおよそチャンピオンになる可能性ももちろん高いんですけど、
0:43:51	この辺、まだその細かい時刻歴とかD比較検討したものとかもお示しい ただいてるわけじゃないので、それはそれぞれのものを評価、
0:44:00	して出てきてそれぞれってのは地すべりとかですね地震以外のものでは けど、
0:44:04	評価をしてきて、重ね合わせるときにどういうご説明いただくのかって いうのは、
0:44:09	これできちんと考えておいてくださいねということになりますんで、
0:44:14	何ていうか今回、
0:44:17	今回なのでプレート間の多分説明資料の中でというよりも、その次のス テップのときの認識のずれがないようにっていうことでご理解いただ ければと思うんですけども。
0:44:29	はい。中部電力天野です。はい。よく認識しておりますので、会合の中 で私の方からご提案とかさせていただいたのは、結局

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:40	今回プレート間地震の津波評価で、チャンピオンというものは選んできませんが、組み合わせの際の時に今鈴木さんからお話あったように、いくつか、
0:44:52	当然似たようなものとか、
0:44:55	波源の違いによって影響が違うものっていうのがあるかと思えますし地すべりもどれを選ぶかっていうのがあるので、例えば、
0:45:06	今、組み合わせについては、その先行の東通だとか、大間なんかもやり方が、泊さんの方でも議論されていると聞いてまして大体、
0:45:16	各社同じような方向でやってるところがありますので、私どもとしても、等組み合わせの最初に例えば組み合わせの方針か何かで審査やっていただいて、
0:45:27	プレート間はこれを先取にしますと、地すべりはこれでやりますんでこういう組み合わせをやっていきますというところで、審査会合をやっていただいて、それで、
0:45:39	いよいよというときに、実際、
0:45:43	解析して、結果をお示しするみたいなやり方でやれば、
0:45:49	どういうものを選ぶかっていう議論が最初にできますし、結果はそのあとに、こうでしたっていうやり方ができるのかなと思ってます。
0:46:01	はい。
0:46:02	それは介護の場でありますけど、ちなみに地震以外の津波、それ地すべりとかですねあれ多分2年前、前回2年前ぐらいですかね。
0:46:13	そこで多分止まってしまっていて、
0:46:16	それは、どこかのタイミングで、コメント回答なり、収束に向けてくんだと思うんですけどそれって、何か買い物に妥当なんか、ほぼほぼでき上がっていて、
0:46:29	云々っていうのは、なので、同時並行的に、
0:46:33	できそうな雰囲気でお話をされてたように、
0:46:35	聞こえたんですけど、
0:46:39	はい。中部電力もです。2年ほど前、
0:46:43	2、審査やっていただきまして地すべりの方は、一体となって動くところの説明をもう少し記載しなさいっていうお話をいただいたのと、
0:46:54	あわせて火山現象による津波の方は、火山事象についてどこまで検討しても、規模っていうのは確実にできるわけではないんで、非常に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:06	大きな噴火が起きたとしても、プレート間に比べれば十分小さいですよというような説明で、をしなさいというようなご指摘を受けていると。
0:47:18	いうところですのでもう資料は整っております。合わせて、海洋プレート内地震だとか、活断層の津波の方も1回ヒアリングやっていただいて、
0:47:28	パラメータスタディをもうやるというところのご指摘をいただいてそこも完了してますんで、資料としてはでき上がってますんでこのプレート間地震の津波、
0:47:38	の方の審査を終えさせていただいたら、すぐにそ、それらは持っていきたいなと思っておるところです。
0:47:47	はい。
0:47:48	わかります。
0:47:50	あとすいません、ちょっとラップアップの場であまりお聞きするのは適切でないのかもしれないです。ちなみに、やっぱり今回プレート間の上昇は、
0:47:59	いわゆるどのサイトよりもやっぱりここが一番効いてくるので、
0:48:04	地震以外ですね滑りの方、何とかチャンピオンを、
0:48:10	選ぶプロセス等で、それがそっくりそのままプレート間と、
0:48:15	もうそのいわゆるペアになる。
0:48:17	津波になるかというところ方必ずそうじゃないですね時間が重ならないとどうしようもないので、
0:48:24	そうすると、地すべりの方って、その実例たり地震以外の要因ですね火山とかは因果関係ほぼないんで、あれですけど、
0:48:32	その地すべり系のものをいわゆる地震以外の要因の津波として単独で評価してるときに、その段階ではあまりよそとの組み合わせ、プレート間とかこういうものとの組み合わせで、
0:48:45	どれがペアになりそうなのかっていうところは、そこはあまり意識せずじにやっぱり単独のチャンピオンとして評価していて、
0:48:52	ペアになりそうかどうかというところを念頭に置いたものっていうのはこれは組み合わせる時に初めてご説明があるってのはそんなイメージなんですかね。
0:49:03	いやあの組み合わせの時になってから実はその地すべりの方の件とか、9ペアとなるものの検討が足りませんでしたねみたいな手戻りがあると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:11	何か、単なる時間の浪費んなっちゃうので、イメージとしてどうなのかなっていうのは、ちょっと来たばかりなものですから、
0:49:19	はい。衣川間野でございます。
0:49:23	そのあとで各社と一緒にまずは単独事象として、どういう影響があるかっていうのを見極めた上で、それぞれの中で影響が大きいもの、
0:49:33	というのを選んで組み合わせに持っていくかと思います。鈴木さんおっしゃる通り、や地すべりでも、距離だとか規模によって、組み合わせ方で影響がどういうのが出るかっていうのが、
0:49:46	ありますので、単独でくる中で、
0:49:51	こういうものだと大きくなろうというところを組み合わせの最初の段階で、ご説明をさせていただくということだと思っております。
0:50:01	いえ、なのです。ほぼご理解はやってると思うんですけど何で地すべりとかでもキャンプを選ぶ過程で箸にも棒にもかからなかったものが、いざ組み合わせになってくると。
0:50:12	コレカサなるんじゃないのというようなものが、
0:50:15	ないのかというその組み合わせのときに、御説明があるということで、その時に初めて新しい
0:50:21	新規に実例として拾われてくるわけではないですよ。
0:50:25	網羅的にそういう意味では27、
0:50:33	少なくとも石井村井の要因による地すべりの中で、当然チャンピオンに選ぶ過程で初期で落ちるかもしれないですけど、その中で一旦やっぱり網羅的に拾われたものの中から、
0:50:45	組み合わせのときに選ばれてくるんで新たに拾い上げてくる作業っていうのはもちろんないわけですよ。
0:50:54	はい。中部電力の盛です。地すべりの評価にあたっては、敷地前面だとか、遠州灘沖とか、外縁隆起とか場所ごとに、
0:51:06	影響が大きいものというのをピックアップして、検討しています。チャンピオンだけ計算しているというわけではなくって、かなり解析ケースも、とは、
0:51:20	12地点ぐらい、
0:51:22	周りで影響検討していますので、
0:51:25	そのエリアごとに影響が大きいもの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:28	どこと重なる笠名ないかというところも含めて、組み合わせのところでご説明させていただくことで手戻りないのかなというふうに考えております。
0:51:40	わかりました。何となく、先々のスケジュールイメージはつきましてありがとうございます。はい。
0:51:46	そうすると、まとめますと、
0:51:51	当 1061 回会合の指摘事項ということで今 4 点まとめていて 2 点目ですね、ここは
0:52:01	いわゆる線モデルの選定プロセスっていうかその方法っていう言い方が方法。
0:52:07	いうところをきちんと出させていただくということで、
0:52:11	案教えます方針、方針ですね。
0:52:14	方針っていうのを出させていただくと。
0:52:17	ということでこれで、指摘事項として 4 点ですね。
0:52:22	ここがきちんとまとまったということでよろしいでしょうか。
0:52:29	はい。中部電力天野でございます。ありがとうございました。しっかりとご指摘の趣旨等も確認できましたので、迅速に資料化して、
0:52:39	ご説明に上がりたいと思っております。
0:52:46	はい。名倉さん、伊達が挙がってます何かございますでしょうか。
0:52:54	名倉です。
0:52:58	最後のところで少し
0:53:01	何ていうかな、盛さんの方で言及されたことが非常に重要ななとっていて、
0:53:09	これはお互いの
0:53:12	だからプレート間地震の、
0:53:14	時刻歴で、
0:53:16	各ポイントの時刻歴、どこ、どの時期、時系列で最大値が出るかという話と、
0:53:24	当地震以外の要因例えば地すべりとかで、どの地域どの場所で傾向が多分異なると思うんですけど、どの時間体で最大値が請求されるのか、その
0:53:38	地震の継続時間の中で、組み合わせを少しいじるんだけど、その時に、お互いのピークが重なり得る関係にあるのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:49	というところで見えていくと、実は地震による津波のケースの中でも最大値の生起時刻が若干ずれてきたりしても、
0:54:00	に対して、必ずしもその基準断層モデルごとの最大ケース、
0:54:06	中のところをちょっとよく見ないといけないんですけど、ここが1個に絞れていう、単独で絞ったものがそのまま適用できるのかどうかそれ以外にも、
0:54:17	要注意の時刻歴ってのがないのかっていうことがチェックもしないといけないし、
0:54:23	逆に、
0:54:26	プレート間の方を固定してみたときに、
0:54:30	実際地すべりの中で影響しなくても西大寺のものを拾ってるのか、影響するものとしての最大値を拾ってるのかとか、そういう相対関係を、
0:54:42	今一度精査する必要があるんで、そのプロセスをちゃんと忘れないようにやって欲しいというのが今回のコメントの趣旨です。
0:54:52	だから盛さんが言われたことに対して、両方、
0:54:57	地震による津波もそうだし地すべりによる津波もそうだし、組み合わせるときに、何が一番厳しいのかというところを、少しチューニングをして、説明する必要があるのかなというふうにちょっと思ってます。
0:55:12	ここら辺はちょっと理解していただいていますでしょうか。
0:55:18	中部電力天野でございます。はい。しっかり理解しております単独をそれぞれ決めた後に今、名倉さんからお話あったように、潜在的にそういう影響が、
0:55:31	大きいものがないかという視点でもしっかり
0:55:35	方針、
0:55:36	立てた上で、しっかりロジック組んでご説明をしていきたいと思っております。
0:55:44	名倉です。わかりました。
0:55:47	北海道電力にも同じことを、いろいろと言ったんですけどなかなか飲み込みが悪くて、結果が出てから、これはこういうことですねと言ったらその時に気が付いたような雰囲気がありましたので、
0:56:01	こういった観点についてはやっぱり、
0:56:07	今までいろんなサイトで、おそらく見ているんですけど明示的に関係ない部分もちょっとあったりして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:13	ただ最大値をちゃんと適切に拾うということの方針の中で、そういうこと の考え方をですね、今回、ちゃんと明らかにした上で、
0:56:26	やっていただければと思います。以上です。
0:56:31	中部電力天野でございます。承知いたしました。
0:56:38	はい。
0:56:39	他は双方
0:56:41	によろしいですか。
0:56:44	はい。それではすみません。これでラップアップの方、終了したいと思 います。お疲れ様でした。
0:56:50	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。